



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨロズ

コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 和己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員財務部長 (氏名) 佐草 彰

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 045(543)6802

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	65,318	14.6	2,663	△31.8	2,856	△17.8	1,258	△18.4
25年3月期第2四半期	56,987	17.5	3,903	△8.9	3,476	△15.6	1,542	△38.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,310百万円 (326.1%) 25年3月期第2四半期 1,715百万円 (△25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	62.48	62.04
25年3月期第2四半期	76.61	76.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	120,090	68,937	48.0
25年3月期	111,170	61,883	46.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 57,631百万円 25年3月期 51,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

なお、26年3月期の第2四半期末配当金15円00銭の内訳は、普通配当が10円00銭、記念配当(創立65周年)5円00銭となっております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	23.0	7,150	0.6	7,500	△10.8	3,900	△26.4	193.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	21,455,636 株	25年3月期	21,455,636 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,299,991 株	25年3月期	1,318,475 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	20,148,422 株	25年3月期2Q	20,133,051 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成25年11月29日(金)……機関投資家、アナリスト向け決算説明会

・上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復傾向にあるものの、欧州債務危機の長期化、中国やインドなどの新興国経済の成長鈍化などにより、依然として不透明な状況が続きました。

一方、日本におきましては、消費者マインドの改善に加え雇用・所得環境に持ち直しの動きがみられ、公共投資による復興需要や緊急経済対策の効果など、明るい兆しが見えてきました。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内市場では前年度下期のエコカー補助金打ち切りの影響が続いており、好調な軽自動車の販売増はあったものの、全体では前年同期に比べ微減となりました。海外市場においては、インドでの国内販売及び欧州向け輸出の低迷はありましたが、中国では日系メーカー生産台数が回復傾向となり、また北米では増産傾向が継続しております。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は、円高是正による増加効果もあり前年同期比14.6%増の65,318百万円となりました。

利益面では、「最大の効率と徹底したミニマムコスト」をポリシーとし、全社を挙げて原価低減活動を継続しておりますが、前期に引き続き新拠点の操業開始コストや既存拠点の新車立上げ費用の発生、労務費増加等の要因により、営業利益は前年同期比31.8%減の2,663百万円、経常利益は前年同期比17.8%減の2,856百万円、四半期純利益は前年同期比18.4%減の1,258百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

①日本

主要得意先であります日産向けの売上が減少したことなどにより、売上高は前年同期比10.5%減の22,626百万円となりましたが、ロイヤルティ収入の増加等により、セグメント利益は前年同期比30.9%増の2,431百万円となりました。

②米州

米国での売上増加の他、円高是正による増加効果により、売上高は前年同期比32.7%増の25,635百万円となりましたが、米国での利益水準の低迷に加え、メキシコ及びブラジルの新拠点立上げ費用の発生等により、セグメント利益は前年同期比77.1%減の186百万円にとどまりました。

③アジア

得意先の生産拡大による売上増加の他、円高是正による増加効果により、売上高は前年同期比27.0%増の23,126百万円となりましたが、タイでの中国からの生産補完に伴う物流費や新拠点立上げ費用の発生、中国での新車立上げ費用の発生などにより、セグメント利益は前年同期比56.3%減の590百万円にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ889百万円減少の57,750百万円となりました。これは、「現金及び預金」が6,294百万円減少、「受取手形及び売掛金」が4,334百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ9,809百万円増加の62,339百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「機械装置及び運搬具」が4,106百万円増加、「その他」に含まれる建物が2,495百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ8,919百万円増加の120,090百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて2,443百万円増加の27,034百万円となりました。これは、「電子記録債務」が1,871百万円増加、「支払手形及び買掛金」が1,209百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ577百万円減少の24,119百万円となりました。これは、「長期借入金」が928百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ1,866百万円増加の51,153百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ7,053百万円増加の68,937百万円となりました。これは、「利益剰余金」が1,057百万円増加、「その他の包括利益累計額」のうち「為替換算調整勘定」が4,070百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年8月5日に公表いたしました平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の通期業績予想を下表の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成26年3月期 連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年8月5日発表)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
	133,000	7,150	7,500	3,900	193.49
今回修正予想(B)	136,000	7,150	7,500	3,900	193.49
増減額(B-A)	3,000	—	—	—	—
増減率(%)	2.3	—	—	—	—
前期実績(平成25年3月期)	110,550	7,107	8,403	5,301	263.28

2. 修正の理由

当第2四半期の実績及び課題となっている米国及びタイ拠点を含む最近の状況を踏まえ、更に為替相場が想定レートより円安になっている現状を考慮し、想定レートについても見直したことにあります。

なお、通期連結業績予想は、次の為替レートを前提にしております。

1USドル=95.00円、1メキシコペソ=7.60円、1ブラジルリアル=45.00円、

1タイバーツ=3.20円、1中国元=15.50円、1インドルピー=1.75円、

千インドネシアルピア=9.50円

*上記の予想は、本資料の発表時における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,193	18,898
受取手形及び売掛金	17,213	21,547
製品	4,268	4,470
原材料及び貯蔵品	348	443
部分品	1,849	2,209
仕掛品	3,316	3,185
その他	6,464	7,013
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	58,640	57,750
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	20,285	24,391
その他(純額)	23,153	27,691
有形固定資産合計	43,439	52,083
無形固定資産	735	790
投資その他の資産	8,355	9,465
固定資産合計	52,530	62,339
資産合計	111,170	120,090
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,497	12,707
電子記録債務	1,216	3,087
1年内返済予定の長期借入金	2,114	2,132
未払法人税等	1,524	1,369
賞与引当金	906	1,117
役員賞与引当金	72	82
その他	7,257	6,536
流動負債合計	24,590	27,034
固定負債		
長期借入金	21,809	20,880
退職給付引当金	1,282	1,380
その他	1,604	1,857
固定負債合計	24,696	24,119
負債合計	49,287	51,153

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,472	3,472
資本剰余金	7,000	7,004
利益剰余金	52,147	53,204
自己株式	△1,150	△1,134
株主資本合計	61,469	62,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,607	2,213
為替換算調整勘定	△10,720	△6,649
在外子会社の年金債務調整額	△436	△479
その他の包括利益累計額合計	△9,549	△4,916
新株予約権	169	148
少数株主持分	9,794	11,157
純資産合計	61,883	68,937
負債純資産合計	111,170	120,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	56,987	65,318
売上原価	48,761	57,352
売上総利益	8,226	7,966
販売費及び一般管理費	4,322	5,302
営業利益	3,903	2,663
営業外収益		
受取利息	70	66
受取配当金	48	54
為替差益	—	172
その他	66	84
営業外収益合計	185	377
営業外費用		
支払利息	80	72
為替差損	505	—
子会社開業準備費用	—	96
その他	25	15
営業外費用合計	611	184
経常利益	3,476	2,856
特別利益		
固定資産売却益	1	2
保険解約返戻金	5	35
特別利益合計	7	38
特別損失		
固定資産廃棄損	0	56
投資有価証券評価損	343	—
その他	9	6
特別損失合計	353	63
税金等調整前四半期純利益	3,130	2,831
法人税等	1,108	1,315
少数株主損益調整前四半期純利益	2,021	1,515
少数株主利益	479	257
四半期純利益	1,542	1,258

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,021	1,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△537	605
為替換算調整勘定	222	5,239
在外子会社の年金債務調整額	8	△50
その他の包括利益合計	△305	5,794
四半期包括利益	1,715	7,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,115	5,892
少数株主に係る四半期包括利益	600	1,417

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	19,696	19,120	18,170	56,987
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,593	202	40	5,836
計	25,290	19,322	18,211	62,824
セグメント利益	1,858	813	1,350	4,021

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,021
セグメント間取引調整額	△118
四半期連結損益計算書の営業利益	3,903

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	16,726	25,496	23,095	65,318
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,899	138	30	6,069
計	22,626	25,635	23,126	71,387
セグメント利益	2,431	186	590	3,208

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,208
セグメント間取引調整額	△545
四半期連結損益計算書の営業利益	2,663